

さくらネット

令和4年(2022年)10月27日

「自分らしい生き方」を考える

コロナ禍で2年間実施することができなかった職場体験学習を、本年度は9月27日(火)から29日(木)の3日間にわたって実施させていただくことができました。また、真庭消防署と銘建工業株式会社にご協力をいただいて、9月21日(水)には職業講演会も行うことができました。このような時期に生徒を受け入れてくださった事業所の皆様、講演会にご協力くださった皆様、そして生徒の送迎等でお世話になった保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

さて、「この企画 親の『疲れた』よくわかる」…これは、職場体験学習を終えた生徒がつくった川柳です。3日間ではありますが、本物の職場で本物の体験をさせていただいた生徒たちには、それぞれに大きな学びがあったようです。テレビやインターネット、シミュレーション等による「間接体験」や「疑似体験」の機会が圧倒的に多くなっている今、このような「直接体験」は貴重な学習の場です。体験を通して人や社会と直接かかわり合うことで、生徒たちは実際の生活や社会の在り方を学び、自分の役割を考え、役割を果たす過程でその価値や「自分らしい生き方」を考えていきます。生徒の感想の一部を紹介し、生徒の学びをご報告します。



職業講演会の様子

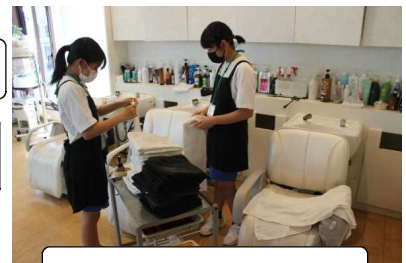
あいさつをする大切さを改めて知った。あいさつをすれば人間関係を保って、よりみんなから信頼されるので、僕もあいさつをもっとしようと思った。僕たちがいつもしている宿題と同じで、期限を守って周りの人に迷惑がかからないように気をつける。職場体験の日以外でも、相手と話す時は、必ず相手の目を見て話すようにする。

【講演を聴いて】

【職場体験学習を終えて】

仕事をしてお金をかせぐことの難しさを知った。仕事をされている方は、さまざまなことに気をつけてしているんだなと思った。

3日間の中で僕が一番心に残っていることは、人と話すこと、仕事のうれしさです。初めは、どう話していいかわからなくて、とまどいました。でも、2日目はだいぶ慣れて、利用者さんと一緒にプリントをしたとき、僕と一緒に考えて答えたら、「ありがとう」と言われて、うれしかったです。担当の方に質問したとき、「『ありがとう』と言われたときがうれしい」と言っておられました。僕もその気持ちがわかりました。次も頑張れる気持ちになりました。今は、コロナやインターネットの普及により、人と話す時間が少なくなっているのですが、この体験をして、改めて、人と話すのって楽しいなと思いました。これからは、この経験を活かして、いろいろな人と話して、人を笑顔にしたいです。



職場体験学習の様子

